

めでたく満100歳

鶴田 ふみさん(根崎)

この世に生を受けて一世紀。8月12日に鶴田ふみさん(根崎)がめでたく満100歳を迎えられ、二本松市からは賀寿、福島県からは賀寿と木杯が贈られました。植木やテレビでの野球観戦が好きとのことで、長寿の秘訣は「よく食べ、よく寝ること」だそうです。ますますのご長寿をお祈りいたします。



災害への備えを

二本松防災支援赤十字奉仕団

日本赤十字社福島県支部創立130周年記念 福島県赤十字大会において金色有功章を受章した「二本松防災支援赤十字奉仕団」の皆さんが、8月8日、市役所を訪れ受賞を報告しました。

二本松防災支援赤十字奉仕団の皆さんは、アマチュア無線を活用したり、炊き出し訓練をしたりするなど、災害への備えを行っています。



若宮地区をなりすまし詐欺被害防止モデル地区に

なりすまし詐欺に注意！

若宮地区が、二本松警察署管内の「なりすまし詐欺被害防止モデル地区」に選ばれ、8月23日、松岡・若宮コミュニティセンターで開始式が行われました。のぼり旗や立て看板の掲示、住民への防犯講話などを通して、なりすまし詐欺被害の防止を図ります。身に覚えのない電話は無視し、すぐに警察に相談しましょう！



第14回身体障がい者体育大会

スポーツの秋 笑顔の運動会

岳下体育館で9月4日、市内全域から約60人が参加し、身体障がい者体育大会が開催されました。

今年は、パラリンピックの正式種目にもなっている「ボッチャ」が初登場。紅組と白組でボールを投げ合う白熱した試合に、会場は大いに盛り上がりました。



- 1_新種目の「ボッチャ」
- 2_狙いを定めて「シャッフルボード」
- 3_フットと息を吹きかけピンポン玉を転がす「球入れ競争」
- 4_1等賞でっこり



第18回東和ふるさと祭り

晴天の下、会場は大賑わい

今年で18回目の開催となる“東和ふるさと祭り”は、東和文化センターを会場に、9月1日開かれ、多くの来場者が多彩な催しを楽しみました。

メインステージやイベント広場では、バンド演奏やクイズ大会、消防ドリル演奏、大道芸などが披露され、恒例の大抽選会では当選番号が読み上げられるたびに、会場から大きな歓声が上がっていました。夜には花火大会が開催され、祭りのフィナーレを飾りました。



二本松城跡発掘調査

250年前のタイムカプセル

8月24日、150人を超える歴史愛好家を迎え、二本松城跡発掘調査現場説明会を開催しました。発掘場所は、霞ヶ城南側の駐車場として使用されていた場所で、二本松藩の家老・丹羽^{ずしよ}凶書の屋敷跡です。

今回の発掘調査は、平成30年から実施しており、昨年の1次調査では戊辰戦争で火災にあったことが判明しました。

今年の2次調査では文献に記録されていた明和4(1767)年の火災を裏付ける焼失遺構やさらに古い時期の土地利用が判明。また一つ、二本松の歴史が明らかになりました。

- 1_ 8月24日に行われた現場説明会
- 2_ 発掘調査の様子



ようこそ二本松市へ

首都圏の大学生が勉強のために来訪

夏休みに入り、首都圏の大学生達が二本松市を訪れ、勉学に励みました。市役所で講義を受けるだけでなく、市内のいろいろな地域を回りました。

8月7日には、「災害救援活動論」を受講している亜細亜大学の学生が市役所を訪れ、生活環境課職員が「東日本大震災の災害対応について」の講演を行いました。学生達は、地震・原発事故・避難者への対応が震災時どのようにされたかなど、とても熱心に聞き入っていました。

【写真1】

また、8月27日には、日本大学の学生が市役所を訪れました。学生達は、経済地理学を専攻。研究テーマは「中山間地域における耕作放棄地拡大の実態とその対応」や「中心市街地の現状と活性化の取組み」、「交流事業の展開」、「過疎問題」など。それぞれのテーマに対して、市職員が講義を行いました。講義の後は、テーマごとに講師と意見を交わしました。【写真2】



カヌー男子 スプリント・カヤックシングル 500m

青木瑞樹選手(安達高校)インターハイ優勝！！

8月4日、鹿児島県で行われた全国高校総合体育大会(インターハイ)でカヌー競技に出場した青木瑞樹選手(細野)が優勝しました。

「優勝をねらえる、普段どおりで行こう。」と臨んだ決勝で、昨年の国体決勝で敗れた相手を終盤にかわし、見事に優勝を勝ち取りました。

青木選手は、小学2年生の時に二本松キッズカヌークラブでカヌーと出会い、中学校に入り本格的にカヌー競技に取り組んだとのこと。ハードな有酸素トレーニングもこなし「速くなるのが楽しい」と笑顔で語ってくれました。

10月は、茨城県で開催される国体に安達高校の先輩・小久保選手とのペアで出場予定。活躍を期待しています。

※スプリント…静かな水面でカヌーに乗り、陸上短距離や水泳競技のように自分のレーンを真っ直ぐ進み、着順を競う競技です。

※カヤック…選手はカヌーの中に足を伸ばした姿勢で座り、両端にブレードのついたダブルブレードパドルを左右交互に漕ぎます。



練習前の青木選手(阿武隈漕艇場(市内木幡))

東北大会第3位！

二本松ミニバスケットボールクラブ

7月に開催された東北電力旗杯福島県予選会で優勝した二本松ミニバスケットボールクラブスポーツ少年団の皆さんが、8月8日、市役所を訪れ優勝報告を行い、東北大会への抱負を述べました。

16チームが出場した東北大会は8月13、14日に宮城県で行われ、見事、第3位に入りました。



がんばれ!!二本松市

優勝を目指し、宣誓

第13回市町村対抗県軟式野球大会に出場する二本松市チームの結団式が、選手・関係者約30人が出席し、8月29日、市役所で行われました。結団式では、佐藤幸好監督(戸沢)が「代表として恥じぬプレーをし、悲願の優勝旗を持って帰りたい」と宣誓しました。

大会は10月13日まで行われ、決勝戦は県営あづま球場で行われます。



“祝”東京オリンピック出場内定！

カヌー男子

スプリント・

カヤックフォア

みやたゆうすけ

宮田悠佑選手

(安達高校出身)

8月25日、東京五輪予選を兼ねた世界選手権がハンガリーで行われました。男子カヤックフォア500mの10-18位決定戦で日本が3着でアジア最上位となり、宮田選手は、松下桃太郎選手、藤嶋大規選手、水本圭治選手とともに五輪出場枠を獲得しました。

宮田選手は、東和中1年からカヌー競技を始め、安達高時代には、インターハイ・日本ジュニア選手権・国体の主要3大会のカヤックシングルで2年連続3冠を達成。高校卒業後は、鹿屋体育大学(鹿児島県)へ進学し、現在は和歌山県(和歌山県教育センター学びの丘)を拠点に練習をしています。



～宮田選手コメント～

8月に行われたカヌースプリント世界選手権にて、500m 4人乗りに出場し、全体で12位、アジア大陸で1位となり東京五輪出場を決めることができました。

五輪出場が懸かるレベルの高い試合の中で、無事出場枠を取ることができ、ホッとしています。また、遠く離れた地元の二本松市へ、良いニュースを届ける事ができてとても嬉しかったです。

1年後の五輪本番に向けて、一つでも上の順位がとれるようにしっかりと準備をし、自分の競技人生の中で最高のパフォーマンスを発揮し、多くの皆さまに感動を与えられるように頑張りたいと思います。



令和元年度二本松市優良建設工事表彰式 優れた建設工事を表彰

市が発注した建設工事の中から、優れた建設工事を表彰する「二本松市優良建設工事表彰式」が8月27日、市役所で行われました。

平成30年度に完成した工事177件のうち、請負金額が1,000万円以上の工事74件を対象として書類審査および現地審査を行った結果、優良建設工事として9件の工事を決定し、工事を施工した9社を表彰しました。